横芝広報

第92号
昭和47年5月1日

発行所
山武郡横芝町横芝636番地
横芝町役場
電話 04798—2—1111(代)
郵便番号 289—17

横芝町の人口と世帯

	＜3月31日現在＞
人口	12,547（−28）
男	6,014（− 7）
女	6,533（−21）
世帯数	3,035（+10）

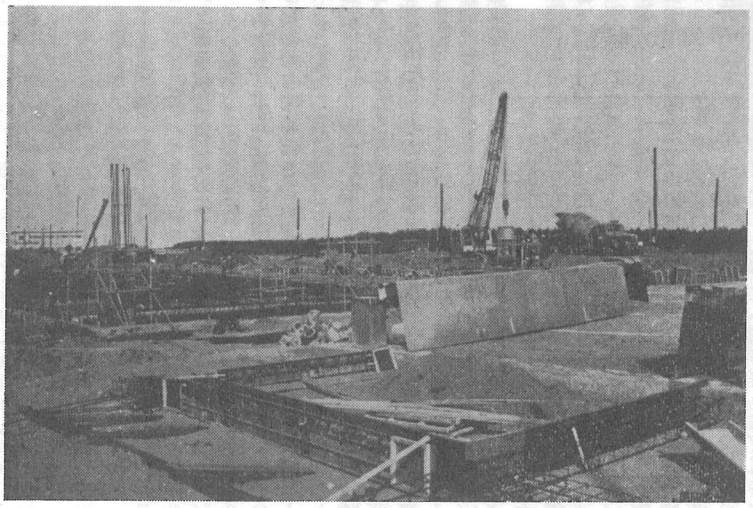
（ ）内は前月比

チビッ子の楽園
海のこどもの国
着々進行

屋形海岸に海の子供の国の建設が進められています。

この事業は、千葉県が九十九里海岸の観光開発の一環として計画されたもので、松の緑と砂丘で美しい屋形海岸の自然を生かして一大レクリエーション地帯にしようとするものです。

将来は、この海の子供の国を拠点として、九十九里海岸一帯が緑とオゾンに恵まれた一大観光地として発展することが予想されます。



この夏開園をめざして急ピッチで進む工事現場

計画によると、約三万平方米の敷地に総事業費約九億六千万円の超大型施設を建設するもので、完成は来年七月の予定になっています。

施設の概要は、七つのプール、三階建の管理棟、駐車場、となっています。

プールは、競泳用の二十五米プール、飛込用プール、六米の高さから一気に十八米をすべり落ちるスライダープール、底の浅いチビッ子プール、噴水プール、機械的に波をつくる造波プール、これらを囲むようにほぼ楕円形の流水プールなどが設備される設計で、子供達には絶好の施設です。

中でも競泳用プールと飛込みプールには、子供の事故防止のための監視窓が設けられ、また、この窓から模範演技を見ることもできます。

第一期工事は、この夏に開園をめざし、プールと管理棟の二階の部分、それと駐車場が予定されています。

第二期工事は、管理棟の三階の部分と、水族館の建設が予定されていますが、現在、検討中とのことです。

豊かな田園都市へ
町の基本構想成る

昭和六十年を目標とした横芝町の基本構想が三月の議会の議決を経て策定されました。

この構想は、横芝町の将来について希望的観測のもとに作られた豊かな田園都市計画のもっとも基本となるべき事項をうたって調和のとれた町の発展を図ろうとするものです。

横芝町基本構想は①将来の展望②開発の基本③社会経済の将来④各部門ごとの構想⑤基本構想の実現方法からなっております。

❶将来の展望

首都東京に隣接する千葉県の文化、社会、経済の発展は著しいものがあり、今後も更に進展することが予想されます。また横芝町の位置する北総地域も、新東京国際空港の建設、内陸部の工業開発、九十九里沿岸の観光開発等によって大幅な変貌をとげております。これら周囲の状況を考慮して横芝町の将来を次のように展望しております。

町の内陸部にあっては、町の基幹産業である農業の近代化を図り都市への生鮮食糧品の供給基地として、あるいは、公害のない内陸工業をとりいれ発展することが考えられます。また海岸部については、九十九里地域一帯の一大レクリエーション地帯の一拠点としての開発も促進され、町全域にわたって均衡と調和のとれた豊かな田園都市として発展するものと想定しております。

❷開発の基本

町の全域にわたって均衡と調和のとれた秩序ある町の発展を図るために次のような四本の柱をかかげております。

Ⅰ新時代への産業基盤の整備
Ⅱ均衡と調和のとれた経済開発
Ⅲ快適な生活を送るための社会開発
Ⅳ健康で文化的な人づくりのための教育の振興

❸社会経済の将来

▼町の人口および世帯数

過去の推移をみると町の人口は年々減少しています。これには一つに労働適令者の都市への流出によるものと考えられます。人口の増加は町発展の基礎的要素であることから、町は高度な土地利用のうえにたった諸産業の振興開発を図り、人口の流出を防止すると共に人口の集中につとめ目標年次（昭和六十年）には現在の約二倍の二万五千人にまた世帯数に於ても核家族化が現在より更に進むものと考えられ七千五百世帯になるものと想定しています。

（次号へ続く）